

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19): 飼い主との接触方法の指針

J. Scott Weese, DVM, DVSc, DACVIM

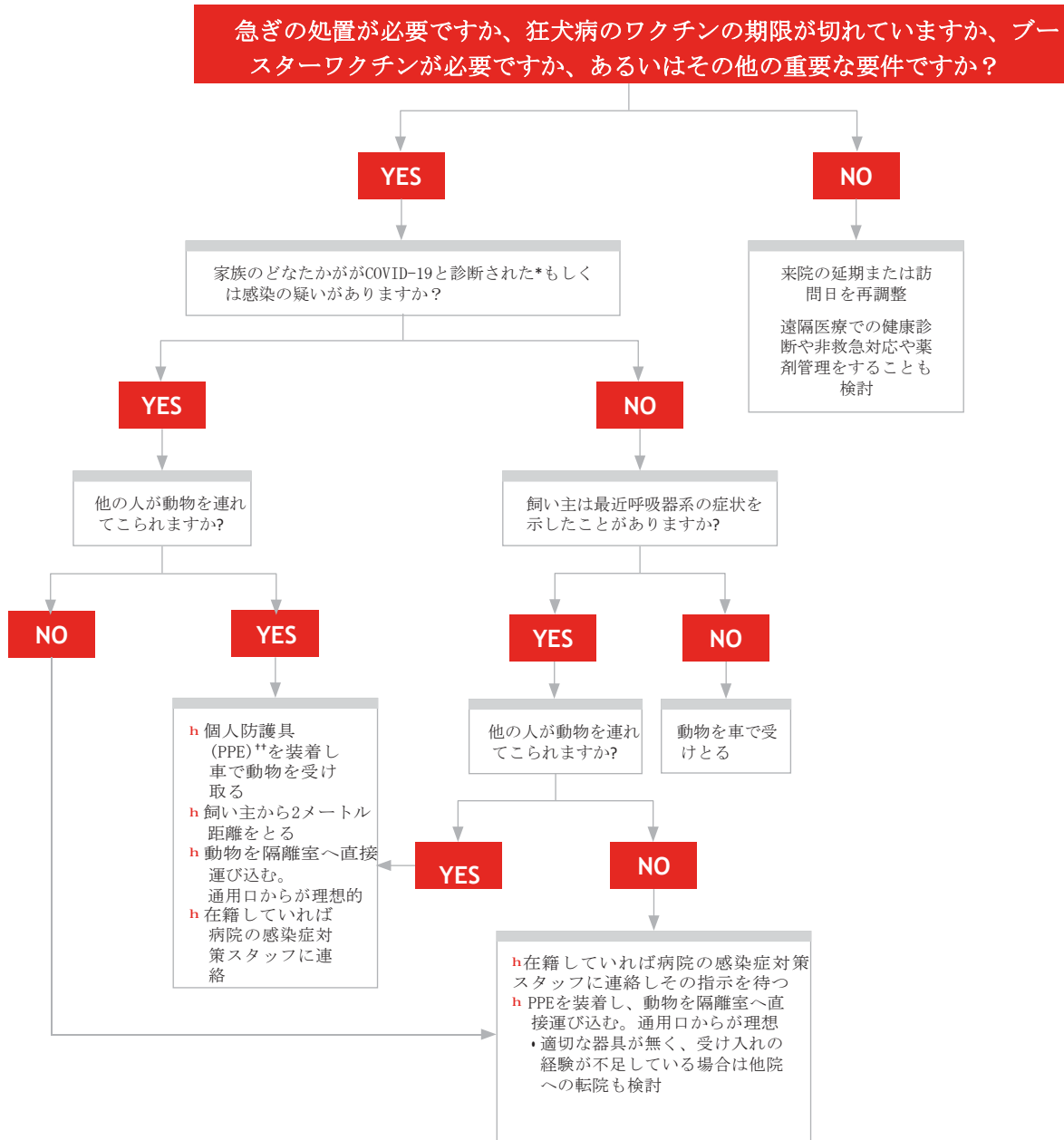
University of Guelph

Published March 30, 2020



WSAVA
Global Veterinary Community

Reproduced by kind permission of Brief Media
clinician's brief



* 飼い主が感染した場合で回復してから2週間以上経過して、家庭内で更なる感染が起こっていない状態で病院に連絡を取っている場合は低リスクと判断できる
* 直近2週間

** 患者となる動物の受け入れや治療にあたる全ての人は最低でも白衣と手袋を着用すること。その動物に関わらないスタッフは部屋に入らないこと。マスクと目の防護やフェイスシールドは保定や処置の際に着用すること。飛沫に接触する可能性のある仕事（例、犬の顔の周りの処置、挿管）をする場合、N95マスクを手術用マスクの代わりに着用すること。N95マスクが入手できない場合、患者の飛沫が発生しうる状況下での処置において、手術用マスクおよびフェイスシールドを着用することは許容できる代替策と考えられる。